

貸与移動通信機器の概要

衛星携帯電話

- ・通信衛星を経由して電話サービスが提供されます。
- ・ワイドスター、イリジウム、アイサットフォン、BGANは、VSATと同じ小さな衛星携帯電話サービスです。
- ・通常の携帯電話では、通話が不可能な山岳地帯や砂漠地帯、海上や孤立地帯などで利用できます。
- ・電話するときは衛星方向に障害物のない場所を選ぶことが必要です。このため着信機能については注意が必要。


名称	写真	仕様	特徴
ワイドスターⅡ (据置)		【サイズ】 W58×H149×D35 (mm) 【重さ】 1.3kg 【バッテリー】 連続通話時間 2.2 時間 連続待受時間 26 時間	・南方の空が開けている屋外もしくは窓際に設置して利用可能 ・国内携帯電話と同様の電話番号 ・ http://www.docomo.biz/html/service/widestar/
BGAN <ビーガン> (据置)		【サイズ】 W297×H399×D51 (mm) 【重さ】 3.2kg 【バッテリー】 連続通話時間 2.5 時間 連続待受時間 36 時間	・南方の空が開けている屋外もしくは窓際に設置して利用可能 ・外国の電話番号 型番: BGAN EXPLORER700 http://www.jdc.ne.jp/bgan_explorer700.html
イリジウム (ハンディ)		【サイズ】 W55×H143×D30 (mm) アンテナ収納時 【重さ】 266g(バッテリー込み) 【バッテリー】 連続通話時間 4 時間 連続待受時間 30 時間	・頭上が開けている屋外で利用可能 ・外国の電話番号 ・ http://www.kddi.com/business/satellite/lineup/
アイサットフォン・プロ (ハンディ)		【サイズ】 H170×W54×D39 (mm) 【重さ】 279g(バッテリー込み) 【バッテリー】 連続通話時間 8 時間 連続待受時間 100 時間	・南方の空が開けている屋外で利用可能 ・外国の電話番号 ・ http://www.docomo.biz/html/service/isatphonepro/

九州総合通信局の備蓄

ワイドスターⅡ[3]、BGAN[1]、イリジウム[3]、アイサットフォン・プロ[3]、簡易無線[15]、MCA[5] 計30台
 [全国合計 2,080 台]
 (H27.4.1 現在)

簡易無線局

- ・ハンディタイプや車載タイプの無線機により、1km～5km程度の通信が可能な無線局(出力5W以下)
- ・業務用として、運送、流通サービス、建設現場、道路工事、イベント会場等での連絡や、レジャー用として、スキー、登山、キャンプ、釣り、ツーリング等の連絡用としてさまざまな場面での利用がされている。全国で約70万局利用。
- ・登録申請するだけで使用可能となる簡易な免許手続き(一部の無線機は免許申請が必要)
- ・音声通信だけでなく、データ通信も可能 ※総務省災害対策用移動通信機器(400MHz帯(デジタル) 5W)

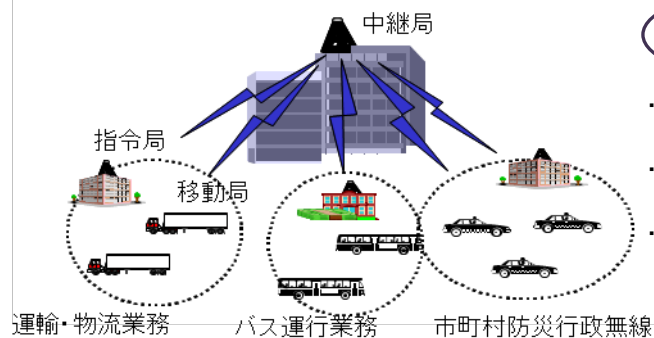
名称	写真	仕様	特徴
IC-UH35CTM (ハンディ)		【サイズ】 W56×H97×D36 (mm) ※アンテナを除く 【重さ】 310g 【連続運用時間】 最大 24 時間 <送信5:受信5:待受 90 の割合での使用例>	・簡易無線機同士が直接送受信するので、輻輳が少ない ・途中に壁など遮るものがなければ、4～5km 程度、壁などがあっても数百 m 程度の距離で通信可能

MCA無線局

- ・中継局を中心に半径30km程度のサービスエリアを持つ(出力10W)移動通信システム
- ・多数のユーザーで複数の周波数(800MHz帯、1.5GHz帯)を共同利用し、複数の回線から空きチャンネルを選択して接続。携帯電話と比較して輻輳のない通信や、同報機能により一斉指令通信が可能。
- ・昭和57年にサービス開始。利用局数は全国で約31万局。
 ※総務省災害対策用移動通信機器(800MHz帯(デジタル) 2W)


運営主体

- ・制御局の運営
(一財)移動無線センター(MRC)



特徴

- ・一斉指令: 指令局から同報機能で複数の移動局に一斉指令
- ・グループ通信: 複数の移動局のグループで通信を行う機能
- ・移動体管理: データ伝送機能を付加することにより、指令局において、常に全ての車両位置や状態把握が可能

名称	写真	仕様	特徴
EK-6175A (ハンディ)		【サイズ】 W58×H149×D35 (mm) ※アンテナを除く 【重さ】 360g 【連続運用時間】 約 18 時間 <送信1:受信1:待受 18 の割合での使用例>	・屋内でも使用可能 ・MCA エリア内であれば、離れた場所同志の MCA 端末間で通話可能 ・携帯電話と異なるシステムなので、携帯電話基地局が故障・輻輳時も利用可能